水道施設の耐震化状況についてお知らせします

6 安全な水とトイレを世界中に
ターゲット 6.1

令和３年５月１０日
郡山市上下水道局
経営管理課
担当：長尾　一彦
TEL：932－7644

SDGs ターゲット６.１「全ての人々の、安全で安価な飲料水の普遍的かつ衡平なアクセスを達成する。」

令和３年２月１３日福島県沖及び５月１日宮城県沖で発生した地震を受け、本市水道施設の耐震化状況についてお知らせします。

■ 本市水道施設の耐震化状況（令和元年度末）

基幹管路の耐震適合率

全国　40.9%　　福島県　55.5%　　**郡山市　66.2%**

基幹管路の耐震管率

全国　26.6%　　福島県　21.5%　　**郡山市　62.0%**

（令和３年度 基幹管路の更新事業費　約 10.1 億円）

＊基幹管路　　：水源から浄水場までの導水管、浄水場から配水池までの送水管、大口径の配水本管

＊基幹管路の耐震適合率：基幹管路総延長の内、耐震適合性のある管の割合

＊基幹管路の耐震管率　：基幹管路総延長の内、耐震管の割合

浄水施設の耐震化率

全国　　32.6%　　福島県　25.7%　　**郡山市　40.8%**

（令和３年度 浄水施設の更新事業費　約 1.1 億円）

平成 30 年 3 月策定の「郡山市水道施設更新・長寿命化計画」に基づく、水道施設の効率的・効果的なマネジメントにより、耐震化を踏まえた施設の更新を進めているところであり、引き続き災害防止に努めていきます。

なお、災害発生時においては、郡山市管工事協同組合（災害時における上下水道施設応急対策の支援に関する協定）等と連携し、速やかな災害復旧に努めていきます。